

令和7年度 羅臼町事業 シレココプロジェクト推進検討業務 実施結果

本事業は、2021年から始まった羅臼町事業『シレココプロジェクト推進検討業務』（2023年度より現在の名称に変更）を通じ、知床国立公園の保護と世界水準の利用の両立を目指すものである。観光コンテンツ拡充や環境負荷低減ルールの普及により生態系保護を推進。また、ルサフィールドハウスを先端部地区への適正な立入を促す重要拠点として、施設の機能向上や啓発プログラムの検討、安全利用に向けた「利用の心得」の周知など、ソフト面の充実を図っている。

2025年度は、①「サケ・遺跡観察イベント」、②「先端部地区利用者へのレクチャーシステムの構築」、③「知床世界自然遺産20周年記念インタビュー」、④「普及啓発を目的とした環境学習教材の制作（紙芝居の作成）」の4つを実施した。詳細は次項に記載。

表1 シレココプロジェクト推進検討業務の変遷（2021年度-2025年度）

年度	実施内容	業務名
2021年	1 観音岩トレッキング 2 熊キャンプ 3 カヤック 4 サケイベント 5 BCプロモーション 6 知床半島水路誌 7 ヒグマウォッチングクルーズへの誘客 8 BC利用者をホエールウォッチングへ誘客	世界遺産ルサフィールドハウスにおけるイベント運営業務
2022年	1 観音岩トレッキング 2 クマ対策キャンプ 3 カヤック体験 4 サケ・遺跡観察イベント 5 羅臼の焚き火トーク 6 ルサ周辺の遺跡に関するリーフレットの作成 7 先端部地区利用者へのレクチャーシステムの構築	令和4年度世界遺産ルサフィールドハウス等におけるイベント運営業務
2023年	1 クマ対策キャンプ 2 サケ・遺跡観察イベント 3 先端部地区利用者へのレクチャーシステムの構築	令和5年度シレココプロジェクト推進検討業務
2024年	1 サケ・遺跡観察イベント 2 先端部地区利用者へのレクチャーシステムの構築 3 シレココプロジェクトのウェブサイト構築	令和6年度 シレココプロジェクト推進検討業務
2025年	1 サケ・遺跡観察イベント 2 先端部地区利用者へのレクチャーシステムの構築 3 知床世界自然遺産20周年インタビュー 4 普及啓発を目的とした環境学習教材の制作	令和7年度 シレココプロジェクト推進検討業務

1. サケ・遺跡観察イベント

サケ・遺跡観察イベントでは、人工的なダムが設置されていない自然河川のルサ川にて、遡上するシロザケやカラフトマスの観察のほか、ルサ遺跡の解説を行っており、2023年度から有料ツアーとして実施している。

今年度は、「サケマス&遺跡を想うツアーinルサ」と題し、ツアー期間を9月13日から10月20日に設定した。参加料金はツアー1回あたり500円（税込）/1名とした。

今年度の参加者数は個人40組78名、団体2組30名の計43組108名であった（2024年度：5組12名）。ルサFH駐車場が拡張したことにより、乗用車以上のサイズの車両が駐車可能となったことから、団体の誘致を行えた。ツアーアンケートからも高い評価をいただいている。

表2 サケ・遺跡観察イベントの実績（2022年度-2025年度）

	回数	組数	人数	備考
2022年	21	21	50	無料ツアー
2023年	8	15	26	有料ツアーとして開始
2024年	5	7	12	
2025年	42	46	108	団体の誘致を開始
合計	76	89	196	



先端部地区利用者へのレクチャーシステムの構築

先端部地区利用者のレクチャー受講率増加と安全対策の向上を目的として、2022年度から先端部地区利用者へのレクチャーシステムの構築を検討している。今年度においては、2021年度より先んじて実施した「①レクチャー受講証の発行」と、「②ヒグマ対策用フードコンテナの無料貸し出し」の2点を実施した。結果は以下のとおりである。

表3 レクチャー実施に係る受講証発行件数と割合（2021年度 - 2025年度）

	レクチャー 実施件数	受講証 発行件数	受講証 発行割合
2021年度	35	26	74.3%
2022年度	26	17	65.4%
2023年度	39	22	56.4%
2024年度	42	10	23.8%
2025年度	42	19	45.2%
合計	184	94	平均 51.1%

表4 フードコンテナ貸出実績（2022年度 - 2025年度）

	レンタル数
2022年度	4
2023年度	9
2024年度	3
2025年度	9
合計	25

2. 知床世界自然遺産20周年記念インタビュー

2025年に世界自然遺産20周年を記念し、羅臼町民6名にインタビューを実施した。インタビューは、2024年度作成したWEBサイト「羅臼シレコプロジェクト」¹上に順次公開している。



3. 普及啓発を目的とした環境学習教材の制作

環境学習教材として、羅臼町で実際に起きた「熊の入った家」を題材とした紙芝居を作成中である。ヒグマとの共存における具体的な対策を啓発する物語であり、隠れ場所をなくす草刈りの徹底や、習性を正しく知る「クマ学習」がいかに関係防止に繋がるか、ストーリー性をもたせ説明する。

紙芝居のプロトタイプを「知床国立公園&世界自然遺産20周年記念事業 Shiretoko Adventure Fes」や「羅臼町事業 Café湯ノ沢」で公開した。



¹ 羅臼シレコプロジェクトWEBサイト (<https://shirekoko-raustown.com/>)